

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
A 6 1 B	17/322	A 6 1 B 17/322
	17/326	17/326

審査請求 未請求 請求項の数2 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号	特願平10-82917	(71) 出願人	598041382 カングセオン チョー 大韓民国ソウル特別市江南區三成洞海▲青 ▼アパートダ棟507号
(22) 出願日	平成10年(1998) 3月13日	(72) 発明者	カングセオン チョー 大韓民国ソウル特別市江南區三成洞海▲青 ▼アパートダ棟507号
(31) 優先権主張番号	1 9 9 8 - 1 4 5 2	(74) 代理人	弁理士 宮本 治彦
(32) 優先日	1998年 1月19日		
(33) 優先権主張国	韓国 (K R)		

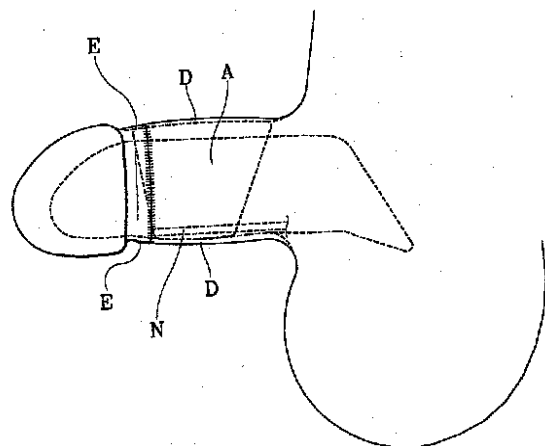
(54) 【発明の名称】 矮小陰茎の拡大手術方法

(57) 【要約】

【課題】副作用がなく、手術の収率が高く(収率、99.9%)、矮小陰茎の回りと長さをともに拡大、かつ、延伸させつつその態様を自然的に保持させる矮小陰茎の拡大手術方法を提供することにある。

【解決手段】矮小陰茎神経症患者の手術方法において、矮小陰茎神経症患者の身体一部の真皮脂肪をはぎ取って、その直後、はぎ取った真皮脂肪を低温状態で冷蔵保管させ、前記はぎ取った傷の部位を縫い合わせて美容手術を行うステップと、前記陰茎の皮膚を切開してはぎ取った後、陰茎を勃起時の長さと同様に、前方側に最大に引張られた状態で前記冷蔵保管されている真皮脂肪を陰茎のはぎ取られた部位に移植させる真皮脂肪移植ステップおよび、前記はぎ取られた陰茎皮膚に前記陰茎に移植された真皮脂肪を被いつつ縫い合わせた後、相互に縫い合わせて固定するステップとからなることを特徴とする。

FIG.6



【特許請求の範囲】

【請求項1】矮小陰茎神経症患者の手術方法において、矮小陰茎神経症患者の身体一部の真皮脂肪をはぎ取って、その直後、はぎ取った真皮脂肪を低温状態で冷蔵保管させ、前記はぎ取った傷の部位を縫い合わせて美容手術を行うステップと、前記陰茎の皮膚を切開してはぎ取った後、陰茎を勃起時の長さと同じくするように、前方側に最大に引張られた状態で前記冷蔵保管されている真皮脂肪を陰茎のはぎ取られた部位に移植させる真皮脂肪移植ステップおよび、前記はぎ取られた陰茎皮膚に前記陰茎に移植された真皮脂肪を被いつつ縫い合わせた後、相互に縫い合わせて固定するステップとからなることを特徴とする矮小陰茎の拡大手術方法。

【請求項2】前記真皮脂肪は、その組織が引張られていなくても十分伸びている状態で、真皮層は陰茎から外側へ向うようにし、脂肪層は陰茎側へ向うようにして、幅のもっとも広い部位は上側に位置させ、もっとも狭い部位は下側に位置させて、陰茎の勃起時に回りの膨脹を妨げない程度に十分な内部空間を有して尿道を含む陰茎の胴体全体を被覆する形ではぎ取られた部位に移植させることを特徴とする請求項1に記載の矮小陰茎の拡大手術方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、陰茎が勃起されていない状態で、矮小な陰茎を変形および副作用なしに陰茎の回りと同じく長さを拡大、かつ、延伸させることにより、矮小陰茎神経症患者らがふだん感じている羞恥心を和らげて劣等感を解消することはもとより、心理的に安定感をあたえて正常生活を維持できるようになした矮小陰茎の拡大手術方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、矮小陰茎神経症とは、自身の陰茎の大きさがほかの人達より、より小さいと感じることからもたらされる各種の神経症勢をいうのであるが、実際には发育不全による矮小陰茎(Micropenis)の場合もあるが、客観的にみて陰茎の大きさが正常に发育したにもかかわらず、本人が自ら小さいと感じる場合がほとんどである。

【0003】これまでに、矮小陰茎を適確に規定する統一された定義は存在しないが、通常、陰茎が一向勃起されていない状態で恥骨上部から陰茎先端までの長さを測ったとき、その長さが4cm以下であるか、または同じ年齢層のもつ陰茎の正常長さより標準偏差が2以上に小さい陰茎をいう。

【0004】かような矮小陰茎は、テストステロンの欠乏により陰茎の发育が低下されることから生じるが、これは独立された一種の身体障害として取扱うべきものではなく、アンドロゼンにたいするすべての標的組織(Target Tissue)に影響を及ぼしうる全身的

な障害であって、かような場合、通常の睾丸もおおむね小さいか、精溜睾丸を伴い、陰囊の发育不全も現れるばかりか、前立腺および思春期以後の身体发育も不完全な場合が多い。

【0005】かような矮小陰茎神経症患者らは、おおよそ男性としての劣等感をもつようになるため、平常時の活動に自信感がなく、公衆風呂場のように裸身になった大衆が集う場に行くのをはばかるため、社会生活に支障をもたらす場合が多い。

【0006】前記のような、矮小陰茎神経症患者を治療するためには、陰茎の長さと同じく回りをすべて拡大、かつ、延伸させつつ自然的な模様を保持させる必要がある。

【0007】これまでのところ、真皮脂肪移植を通じて陰茎の回りを拡大させる陰茎回りの拡大手術と、靱帯を切断して皮膚の長さを延伸させて陰茎の長さを延伸させる手術などがあるが、かような手術はそれぞれ別々に実施されている。

【0008】より詳しくは、前者の陰茎回りの拡大手術は、身体一部の真皮脂肪をはぎ取った後、陰茎の皮膚を所定幅に切開してはぎ取った真皮脂肪を尿道部を除く陰茎の回りに移植させることにより、陰茎の回りを拡張させるは手術をいい、後者の陰茎長さ延伸手術は陰茎の懸垂靱帯を切断して皮膚の長さを延伸させて陰茎の長さを延伸するものであって、この手術が成功する場合には勃起されていない状態でその長さがおおよそ2.5cm以下に延伸される。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】ところで、既存の陰茎回りの拡大手術は、陰茎の長さは延伸されず、その回りだけが拡大されるため、矮小陰茎神経症の効果的な治療のためには、陰茎長さの延伸手術を追って行わなければならない短所がある。のみならず、既存の懸垂靱帯を切断して皮膚を延伸させる陰茎長さの延伸手術はその歩留まりが低調であり、たとえ成功する場合にも、その延伸長さが大でなく(通常、2.5cm以下である)、手術後には勃起の際に陰茎の長さがかえって短くなるか、下方へ垂下がる副作用が生じうる。さらに、陰茎の態様が不自然に変形されてもうひとつのコンプレックス原因となるため、かような手術方法は、矮小陰茎神経症患者らに適切な手術方法とはなりえない。

【0010】そこで、本発明は上記従来の陰茎の拡大および延伸手術における種じゆの問題点を解決するためになされたものであつて、本発明の目的は、副作用がなく、手術の収率が高く(収率、99.9%)、矮小陰茎の回りと同じく長さをともに拡大かつ、延伸させつつその模様を自然的に保持させうる矮小陰茎の拡大手術方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記のような目的を達成するためになされた本発明による矮小陰茎の拡大手術方

法は、矮小陰茎神経症患者の手術方法において、矮小陰茎神経症患者の身体一部の真皮脂肪をはぎ取って、その直後、はぎ取った真皮脂肪を低温状態で冷蔵保管させ、前記はぎ取った傷の部位を縫い合わせて美容手術を行うステップと、前記陰茎の皮膚を切開してはぎ取った後、陰茎を勃起時の長さと同じくするように、前方側に最大に引張られた状態で前記冷蔵保管されている真皮脂肪を陰茎のはぎ取られた部位に移植させる真皮脂肪移植ステップおよび、前記はぎ取られた陰茎皮膚に前記陰茎に移植された真皮脂肪を被いつつ縫い合わせた後、相互に縫い合わせて固定するステップとからなることを特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明による一実施の形態について添付図面に沿って詳述する。

【0013】まず、矮小陰茎神経症患者を手術台上に伏臥姿勢の状態にて患者の身体一部（好ましくは、図1に示すように、患者の臀部一側の縮み部位）の真皮脂肪（A）を陰茎の 繞りに要するくらい十分にはぎ取って、その直後にはぎ取った真皮脂肪を低温（好ましくは、0

程度）状態で冷蔵保管させた後、真皮脂肪をはぎ取った傷部位を美容成形する方法で縫い合わせる。

【0014】この際、はぎ取った真皮脂肪の長さは、勃起した陰茎の回りを十分 繞りできるくらいでなければならず、その幅ははぎ取った傷部位の縫い合わせに支障のない範囲内で外方へ突出された陰茎の胴体長さの大部分を被覆できるくらい、なるだけ広くするのが好ましい。

【0015】かように、はぎ取った真皮脂肪（A）を冷蔵保管する理由は、真皮脂肪をはぎ取るときから移植する前まで（略、60分程度）に真皮脂肪（A）内の細胞の損傷を最小化するためである。

【0016】次に、縫い合わせおよび美容成形の終了後、患者を仰臥姿勢を取らせて、患者の陰茎にメスを利用して切開をした後（図3）、切開線（B）から陰茎皮膚を亀頭側と恥骨上部側（C方向）にバックスフェーシャ（Buck's Fascia）が露出されるように十分はぎ取る（図4）。図4でDは恥骨上部側（C方向）にはぎ取られた陰茎皮膚であり、Eは亀頭側にはぎ取られた陰茎皮膚である。

【0017】次に、図5に示すように、患者の陰茎を前方側（F方向）へ勃起時と同じくするように、最大限に引張った状態で冷蔵保管された真皮脂肪（A）を取出して陰茎のはぎ取られた部位に移植させる。

【0018】この際、はぎ取った真皮脂肪（A）は、図2に示すように、患者の陰茎回りを十分 繞りできる部分を除く残りの両端部位を切断する。

【0019】さらに、はぎ取った真皮脂肪（A）を引張らずにただ少しく広げられた状態で真皮層は陰茎から外側へ向うようにし、脂肪層は陰茎側に向うようにする一方で、はぎ取った真皮脂肪（A）の幅がもっとも広い部位（G）を陰茎の上側（12時方向）に位置させ、幅がもっとも狭い部位（H）を陰茎の下側（6時方向）に位置させる。

【0020】この際、はぎ取った真皮脂肪（A）が陰茎の勃起時の回りの膨脹を妨げないくらい十分な余裕空間を有して、尿道部（N）を含む陰茎の胴体全体を被覆するように位置させ、バックスフェーシャに縫い合わせて固定させた後に、亀頭側と恥骨上部側（C方向）にそれぞれはぎ取られた陰茎の皮下組織と皮膚組織で陰茎に移植された真皮脂肪（A）を順に被いつつ相互に縫い合わせる（図6）。

【0021】次に、図7に示すように、元の皮膚組織と陰茎に移植した真皮脂肪組織を相互に固定させるため、陰茎の外側で元の皮膚組織と移植した真皮脂肪組織を一度に縫合わせた後、陰茎皮膚の外側にバセリンガズ（I）をあて、その上に結びをつけて縫い合わせをする。

【0022】したがって、図3と6を相互に対比してみても分りうるように、陰茎に移植された臀部の真皮脂肪（A）組織は、その収縮性が陰茎の海綿体組織に比べてはるかに鈍いため、二つの組織を相互に接させた状態では、前方側（F方向）に引張られた陰茎の長さが手術前のように大に縮小されるのを食い止めるようになる。

【0023】結果的に、手術後には移植された真皮脂肪（A）の幅（G）+亀頭の長さだけ、平常時の陰茎の長さが保持されるのはもとより、陰茎皮膚（D）内に移植された真皮脂肪（A）の厚くらい陰茎の回りが拡大されるのである。さらに、陰茎に移植された真皮脂肪（A）は陰茎の細胞組織と同一なるゆえ、副作用なしに陰茎の組織に同化しやすくなる。

【0024】かような、本発明による矮小陰茎の拡大手術方法を通じて陰茎を手術した矮小陰茎神経症患者105人を標本にして手術前後における陰茎の長さと同じく回りにたいする結果データを下記表1に示す。

【表1】

5

6

時期		長さ (平均)	回り (平均)
手術前	105	4.5cm	7.1cm
2～3ヶ月	82人点検	8.3cm	12.1cm
4～12ヶ月	23人点検	8.1cm	11.3cm
13～60 (平均31)ヶ月後	18人点検	8.0cm	10.7cm

【0025】さらに、本発明による矮小陰茎の拡大手術方法を通じて陰茎を手術した矮小陰茎神経症患者らの満足度は下記表2に示す。
* 満足度は下記表2に示す。 【表2】

患者105人	大に好転	やや好転
公衆浴場忌避症	74(70.5%)	10
ふだんの劣等感	77(73.3%)	18
性的自信感	36(34.3%)	22

【0026】さらに、本発明による矮小陰茎の拡大手術方法を通じて陰茎を手術した矮小陰茎神経症患者らの性生活に及ぼす影響は下記表3に示す。

【表3】

患者93人	好転
射精時間	56(60.2%)
相手満足度	45(48.4%)
本人満足度	58(62.4%)
勃起力	14(15.1%)

【0027】

【発明の効果】上述のように、本発明を利用すれば、陰茎の変形または副作用なしに矮小陰茎の回りと長さをともに拡大、かつ、延伸させるため、身体の障害を克服しうればかりか、かような手術を通じて矮小陰茎神経症患者らの羞恥心および劣等感はもとより、性的自信感を

増大せしめて男性としての自信感をあたえうるといふ憂れる効果がある。

30 【図面の簡単な説明】

【図1】患者の臀部一側の縮れ部位から真皮脂肪をはぎ取る状態を示す図である。

【図2】はぎ取った真皮脂肪から患者の陰茎の回りを十分繞しうる部位ぐらいの長さ(L)を除外した両端側を切断した真皮脂肪を示す図である。

【図3】陰茎を切開する状態を示す図である。

【図4】切開線から陰茎皮膚をそれぞれはぎ取る状態を示す図である。

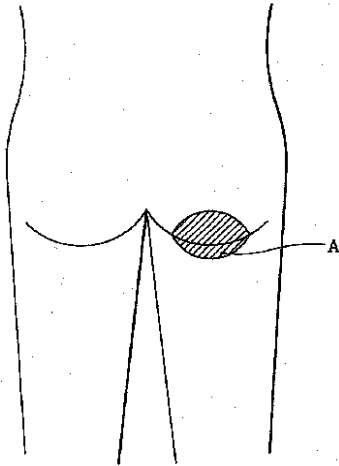
40 【図5】陰茎を前方側へ最大に引張った状態ではぎ取られた陰茎部位にはぎ取った真皮脂肪を移植させる状態を示す図である。

【図6】真皮脂肪の移植後にはぎ取られた陰茎皮膚を真皮脂肪の上にかぶせて縫い合わせた状態を示す図である。

【図7】元の皮膚組織と陰茎に移植した真皮脂肪組織を相互に固定させるため、陰茎の外側で元の皮膚組織と移植した真皮脂肪組織を一度に縫合させた後、陰茎皮膚の外側にパセリンガ-ズをあてて、その上に結びをつけて縫い合わせた状態を示す図である。

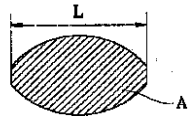
【図1】

FIG.1



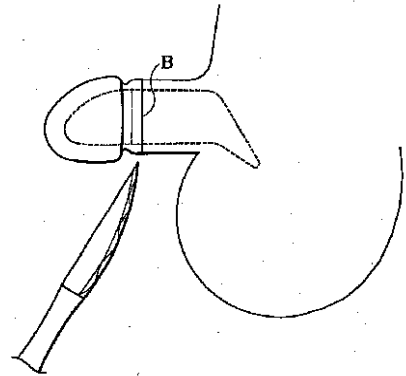
【図2】

FIG.2



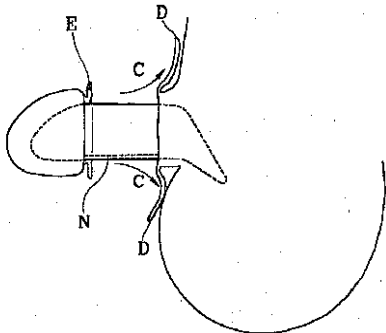
【図3】

FIG.3



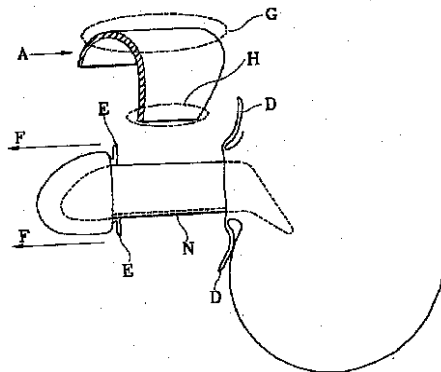
【図4】

FIG.4



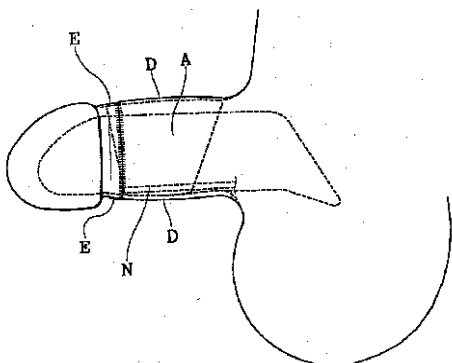
【図5】

FIG.5



【図6】

FIG.6



【図 7】

FIG.7

